

☑ 平成27年度の一般廃棄物の
排出及び処理状況が発表



新たな年度を迎えるに当たり、ニュースレターをリニューアルいたしました。
SEFの活動状況のご報告だけでなく、資源循環や森林再生に関する最新情報をお届けするなど、皆様のお役に立つニュースレターを目指してまいります。ご期待ください！

資源循環事業 TOPICS

平成27年度 一般廃棄物の排出及び処理状況が 発表されました（環境省）

環境省は3月28日、平成27年度における全国の一般廃棄物（ごみ及びし尿）の排出及び処理状況等の調査結果を取りまとめ、公表しました。

（主な結果 抜粋）

- ごみの総排出量は4,398万トン（東京ドーム約118杯分）
→前年比△34万トン
1人1日当たりのごみ排出量は939グラム（前年比△8グラム）
- 最終処分量は前年比3.0%減少（417万トン）
- ごみ焼却施設数は減少（1,162施設 → 1,141施設）
- 最終処分場の残余容量は17年間続けて減少
最終処分場の数は減少傾向にあり、確保は引き続き厳しい状況。
- ごみ処理事業経費は19,495億円（前年比+64億円の増加）
→国民1人当たりに換算すると15,200円

詳しい内容は環境省ホームページに掲載されています。

<http://www.env.go.jp/press/103839.html>

「外食産業における食品リサイクルマニュアル」 が完成しました（日本フードサービス協会）

（一社）日本フードサービス協会（JF）では平成28年度、農林水産省の食品リサイクル促進等総合対策事業のうちの外食産業における食品リサイクルマニュアル策定・普及事業を受託し、このほど「外食産業における食品リサイクルマニュアル」を完成させました。このマニュアルの作成にはSEF

各地域の森林 TOPICS

も協力させて頂いており、事例紹介や導入手順の作成に携わりました。
このマニュアルは、平成27年7月に改定された外食産業の再生利用等実施率の目標値50%を目指すため、この春JFが全国8ブロックで開催したJF会員向け研修会で紹介されたほか、今後は外食事業者に頒布され、外食産業における再生利用等実施率の向上に役立てられます。

【日向の森（千葉県山武市）】春分の日に親子森林体験イベントを開催！

春麗らかな陽気となった3月20日（月）、日向の森で親子森林イベントを開催しました。山武市内を中心に、下は2カ月の赤ちゃんから上は小学校4年生まで10名の子どもたちとそのご家族22名にお集まり頂きました。ビンゴカードを手に森林散策と自然観察を楽しんだ後、大迫力の間伐作業と、サンプスギの間伐材を使った木のスプーンづくりを体験して頂きました。その後、薪のかまどで温めたスープを手づくりスプーンで味わいました。このイベントは「子どもゆめ基金」の助成を受けて実施したもので、今後も定期的に行きたいと考えています。次回もご期待下さい！



【東御の森（長野県東御市）】3月9日（木）に第2回「森から学ぶ」自然環境講座を開催

「東御の森」の自然環境を紹介しながら、生物多様性や森の保全について学び合う目的で企画したこの講座。今回は、「東御の森」の植物や水生生物などについての話題提供につづいて、顕微鏡による水生生物や土壌生物の観察体験をおこないました。参加者からは「地元の自然や里山がテーマで身近な自然や昆虫等の内容で大変興味を持てた」との感想を頂きました。

この連続講座は、(公社)国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」の交付金による助成事業です。東御市と(公財)身体教育医学研究所の協力で実施しています。次回は5月に体験講座を予定しています。



SEFからの
おしらせ

4月22日(土)、23日(日)に開催される「アースデイ東京2017(代々木公園)」に出展します!

今年で17回目を数え、昨年は12万人を超える来場者を記録した日本最大級の環境イベント「アースデイ東京2017」。SEFは今年も出展します。ブースでは、生ごみをご家庭でリサイクルできる「ダンボールコンポスト」を紹介するほか、木に触れ、森を身近に感じてもらう機会として毎年好評を頂いている「こども木エワークショップ」の開催を予定しています。入場は無料ですので、ぜひご家族、ご友人をお誘いあわせの上、皆様でお出かけください。ご来場をお待ちしております!

